

○参加報道機関（敬称略）

南信州新聞社、信濃毎日新聞社飯田支社、中日新聞飯田支局、朝日新聞飯田支局、
SBC 信越放送(株)飯田放送局、TSB テレビ信州南信支局、時事通信社諏訪支局

○会見内容（敬称略）

進行【秘書広報課長】

1 開会

2 市長あいさつ

本日は、7月第1回定例記者会見にお集まりいただき、ありがとうございます。

梅雨前線に伴う豪雨については、九州で非常に大きな被害が出ている状況です。この度の豪雨により被災された皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたします。

当市においては、昨日（7月6日）の17時30分に上村・南信濃地区全域に避難勧告を、上久堅・千代地区の土砂災害特別警戒区域の居住者に避難準備・高齢者等避難開始を発令しました。一夜明けた現在も発令を継続しており、今後も梅雨前線の状況は予断を許さない状況が続きます。また、地中に雨が大量にしみ込んでおり、降雨量が多くなっても土砂災害が発生する危険が高まっています。避難情報を発令している地域の皆さんには引き続き最大限の注意を払っていただくようお願い申し上げます。

3 発表事項

（1）梅雨前線に伴う降雨対応の状況

資料に基づき説明

説明者：飯田市長、総務部長、危機管理室長

〈質疑応答〉

信濃毎日新聞社

避難世帯と人数は最大で12世帯15人ということによろしいですか。

飯田市

そのとおりです。

信濃毎日新聞社

現時点で避難勧告などを発令する地区が増えるといった見通しはありますか。

飯田市

今のところ増やす計画はありませんが、一夜明けてしまうと解除になったと勘違いしてし

もう方がいる可能性があるため、雨が強まるタイミングでいいだ安全・安心メールや防災行政無線により啓発していきます。

信濃毎日新聞社

避難所に避難された方は、すでに全員帰宅されましたか？

飯田市

全員帰宅されましたが、いつでも避難できるように 19 カ所の避難所は現在も開設しています。

信濃毎日新聞社

最後の方が帰宅されたのは何時ですか。

飯田市

本日（7月7日）の朝7時です。

〈その他質疑応答〉

信濃毎日新聞社

先日、JR 東海が 2027 年の開業が困難になったという認識を報道に示していますが、市長として一連の経過へのコメントをお願いします。

飯田市長

先日のトップ会談が終わった直後に JR 東海からその内容について直接ご連絡いただきましたが、内容を踏まえて JR 東海としてどうするのかという旨は聞いていません。

当市は 2027 年の開業に向けてさまざまな事業に取り組んでいるので、2027 年の開業を強く望むというスタンスに変わりはありません。開業時期が変わるということであれば、正式に公表された上で検討します。

南信州新聞社

JR 東海は、長野県内の工事について触れていましたか。

飯田市長

長野県内の工事は計画どおり進めたいということでした。

南信州新聞社

それを受けて市長はどのように返答されましたか。

飯田市長

静岡県の記者会見前だったため、2027 年の開業を強く望んでいるということを伝えさせていただきました。

信濃毎日新聞社

市長は、現状を打開するためにはどうしたらいいと思いますか。

飯田市長

国の方でしっかり調整していただきたいと思います。

時事通信社

2027年にリニア開業ができなくなると、市や市民にとってどのような影響がありますか。

飯田市長

JR 東海から正式な方向性が示されないと判断しかねます。

中日新聞

沿線自治体との連携による要望活動を行う考えはありますか。また現時点で、沿線自治体と連絡を取り合っていますか。

飯田市長

沿線自治体との連携による要望活動は今までも取り組んでおり、これからも継続的に取り組んでいく予定です。内容については、今後の状況も受けて考えていきます。そのためにも明確な開業時期を示していただきたいと思います。

また、現時点では連絡を取り合っておりませんが、JR 東海から正式に連絡いただいたところで沿線自治体と連絡を取り合っていきます。

中日新聞

飯田市新型コロナウイルス感染症緊急対策事業第4弾の内容について決まっていることがあれば教えてください。

飯田市長

現在、各地区のまちづくり委員会や関係団体の皆さんとの意見交換を行っており、どのようなことが課題になっているかをしっかりと把握した上で施策を打ち出していく予定です。新型コロナウイルスとの闘いは長丁場になることが予想されるため、第2波、第3波に備えていかなければならないと考えています。学校関係は、オンラインによる授業などさまざまな方策を前倒しで実施していく予定です。

中日新聞

先日、市職員が飲酒運転で検挙されましたが、その後、庁内において飲酒運転撲滅策は実施されましたか。

飯田市

飲酒運転撲滅に向けた取り組みとして現在、所属長に対して、県警察本部から出向している危機管理室交通安全係長から事例も含めながら指導してもらっています。その内容を各所属部署に持ちかえり、再発防止に向けた実効性のある取り組みについて協議して、その結果を7月末までに総務文書課が集約することになっています。懲戒処分の基準なども今後考えていく予定です。

信濃毎日新聞社

先日県議会で「県新型コロナウイルス感染症等対策条例」が可決されましたが、市長はこの条例についてどのようにお考えですか。

飯田市長

医療福祉関係施設でのクラスター発生やそれによる地域の医療崩壊を避けるという観

点において、この条例により新型コロナウイルスに対応していく考え方は称揚すべき点だと考えます。新型コロナウイルスを自分事として考えられた方が多かった地域は比較的感染を抑えられているため、自分たちでできることは自分たちでやっという考え方は大切だと思います。

裁量権をどこまで与えるかについては、これからさらに議論を深めていかなければならないと考えています。

4 閉会

この内容については、言葉遣いや言い回しなどを整理したうえで作成しています。

(作成：秘書広報課広報広聴係)